

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

岩手県

自治体名：岩手県

担当課名：文化スポーツ部文化振興課

電話番号：019-629-6485

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	15,275.04 km ²
人口	1,150,784 人
公立中学校数	144 校
公立中学校生徒数	27,763 人
部活動数	235 部活
都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

本県における部活動は、他都道府県と比較して高い部活動加入率のもと、これまで地域の実情に合わせた形で行われ、中学生の文化・スポーツ活動の重要な機会となっている。

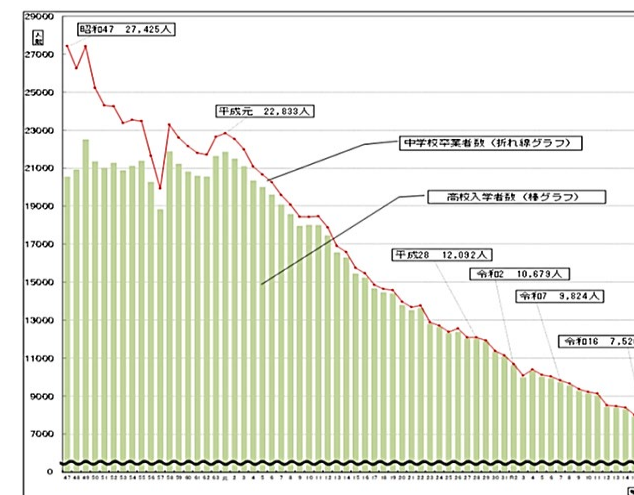
一方、生徒数の減少や中学生の文化・スポーツ活動の多様化により、学校にある部活動だけでは中学生のニーズに応えることが難しくなってきた状況等を踏まえ、「中学生本位の有意義な文化・スポーツ活動の在り方の方向性を整理」することを目的として検討を行った有識者会議では、「望ましい活動・環境の姿」の実現に向け、中学生の文化・スポーツ活動を支える各主体（市町村・市町村教育委員会、学校、関係団体、指導者）に求められる役割・取組を令和3年3月に提言としてまとめた。

県及び県教育委員会は、有識者会議の提言及び令和4年12月に文化庁及びスポーツ庁が国のガイドラインを策定したことを受け、「岩手県における部活動の在り方に関する方針（改定版）」を全面的に改定し、令和6年1月に新たに「岩手県における学校部活動及び新たな地

域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定し、学校部活動の地域クラブ活動への移行について、まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進、平日の環境整備はできるところから、関係者からなる協議会等を設置し、検討体制を整備することとした。

各市町村においては、地域クラブ活動への移行について、地域の実情に応じ、関係者の共通理解の下、できるところから取組を進めることを求めており、実施可能な活動から取り組むこととしている。

岩手県における中学校卒業生数及び高等学校入学者数の推移

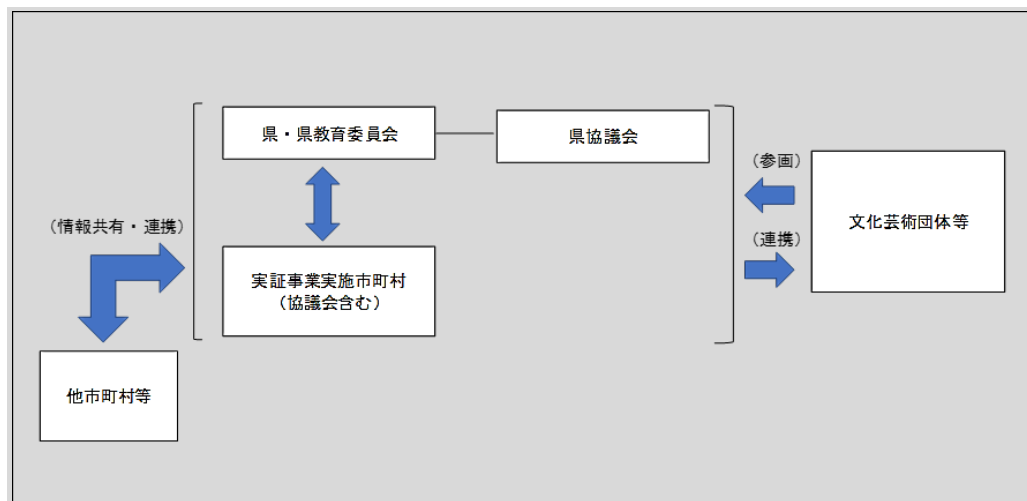


「新たな県立高等学校再編計画後期計画」令和3年5月24日 岩手県教育委員会

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（都道府県における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学校教育室、保健体育課）

- ・市町村教育委員会（部活動所管課）や中学校等に対する制度等の説明及び情報展開
- ・市町村の学校部活動の地域連携に対する取組支援 等

◎首長部局（文化スポーツ部文化振興課）

- ・市町村文化芸術所管課に対する制度等の説明及び情報展開
- ・受け皿として想定される団体に対する制度等の説明及び情報展開
- ・県単位での地域文化芸術団体との連携（受入態勢整備） 等

年間の事業スケジュール

令和6年4月	実証事業契約関係事務 県関係室課打合せ①
令和6年5月～	運営会議、実証事業等の支援、 市町村等への制度説明
令和6年7月	第1回協議会の開催
令和6年10月	県関係室課打合せ②
令和6年11月	事例発表会の開催 ワークショップの開催
令和6年12月	市町村説明会
令和7年2月	第2回協議会の開催
令和7年3月	事業完了報告書・成果報告書等 の作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

県は、県が設置する協議会における関係機関への情報提供、意見交換等の実施、市町村への助言・指導及び相談会等を実施し、地域文化芸術活動を行う上での成果や課題を整理し、持続可能な組織体制の整備を支援する。

取組の成果

- ・ 新たな文化芸術（スポーツ）環境の整備等に向けた関係者間での情報共有、意見交換を目的とした県協議会を実施
(第1回 令和6年7月、第2回 令和7年2月)
- ・ 部活動の地域移行等に向けて取り組んでいる方々など、関係者を対象とした事例発表会を実施（11月）
- ・ 学校部活動及び新たな地域クラブ活動への移行に関する県内外の実践等の共有及び岩手県の中学生にとって望ましい環境について、様々な立場から意見交換し、協議会に対する意見としてまとめるためワークショップを実施（11月）
- ・ 部活動の地域移行の円滑な推進に向けた助言や情報共有等を図ることを目的とした市町村相談会を実施（12月、県内4会場）

令和6年 11/30(土) 9:10~16:30 (受付9:00~)

会場 岩手県生涯学習推進センター (花巻市北東口2-82-13)

募集定員 ●会場参加: 160名 ●オンライン: 300名

※ 先着順 ※ 詳細は募集要項及び申込用二次元コードからご確認ください

【お問い合わせ先】 岩手県教育委員会事務局生涯学習課 学校体育担当 生駒
TEL: 019-629-6191 E-mail: DB0006@pref.iwate.jp

今後の課題と対応方針

岩手県における地域クラブ活動の効果的、効率的な体制の整備・充実に向け、関係団体等との十分な情報共有、緊密な連携が必要なことから、県協議会における関係機関との協議内容等を踏まえ、県として市町村の地域クラブ活動への移行を進めていくこととしている。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・ 本県では、令和5年度以前は文化分野における実証事業の取組事例がなかったことから、実施市町村においては、手探りの状態での事業開始となった面があったが、スポーツ分野の事例等を参考にしながら、おおむね年間を通した運営の形を構築することができた。
- ・ 令和6年度において、県に協議を設置し、実証事業の取組状況等を、関係者間で共有することができた。
- ・ その他、事例（県内外）発表会や関係者によるワークショップ、相談会等を通じて、市町村等の関係者による地域移行への取組を支援した。

●成果の評価

- ・ 本県には、伝統（民俗）芸能が多数存在していることから、今年度の実証事業の取組に係る成果が、今後、県内他市町村における展開につながっていく可能性がある。
- ・ 県協議会等を通じて、実証事業を含む県内外の先行事例等を、市町村をはじめとする県内関係者で情報共有し、今後の地域移行の推進に向けて協議することができた。

●今後に向けて

- ・ スポーツ分野と比較すると、文化分野における休日の部活動の地域移行に向けた取組事例は少なく、段階的な地域移行に向けて、地域の特色に応じた地域クラブ活動の仕組みを構築していく必要がある。このため、引き続き実証事業を実施し、地域団体の責任の下で行われる活動の成果、課題を整理するとともに、地域団体が担っていくこととなる業務、活動経費、指導者の確保など、地域移行へ向けた体制の整備に取り組む。
- ・ 実証事業の取組内容について、市町村等へ情報提供するとともに、今後の地域クラブ活動の展開のあり方について、市町村等と協議する。

2.実証内容と成果③

広報資料

岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針（概要版）

【国の動き】

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

- （令和4年12月 スポーツ庁・文化庁）
- ・ 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を段階的に推進
- ・ 令和5～7年度の3年間で改革推進期間と位置付け
- ・ 地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指す

《これまでの方針》

岩手県における部活動の在り方に関する方針（改定版）

（令和元年8月 岩手県教育委員会）

【目的・意義】

部活動は学校教育の一環として教育課程との関連を図り、生徒の自主的・自発的参加により行われるもの。過度の練習が生徒の心身に負担を与えることを理解すること。

【県の動き】

いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから（提言）

- （令和3年3月 岩手県「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」有識者会議）
- ・ 中学生のスポーツ・文化活動を支える各主体（市町村・市町村教育委員会、学校、関係団体、指導者）に求められる役割・取組について提言
- ・ 「岩手県における部活動の在り方に関する方針（改定版）」の内容検討及び再改定が求められた

全面的に改定し、新たに方針を策定

参考

「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」

対応

Iは公立・私立中学校の生徒を主な対象とし、公立・私立高等学校の生徒も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高等学校や私立学校は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、従来の方針の内容を踏まえつつ、実施する場合の適正な運営等の在り方

■ 適切な運営のための体制整備

- 暴力（体罰）・ハラスメント（生徒の人格を傷つける言動）の根絶
- 部活動の指導方針について、教職員、部活動指導員、保護者、外部指導者等が共通理解を図る機会（部活動連絡会等）を設定

■ 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

- スポーツ医・科学の見地から、休養を適切に取る必要がある
- 短時間で効果が得られるよう、効率的・効果的な指導の工夫
- 対話を重視しコミュニケーションを十分に図った上での指導

■ 適切な休養日等の設定

岩手県の部活動休養日及び活動時間の基準

【中学校】

- 週当たり2日以上（平日1日以上、週末1日以上）の休養日を設ける。
- 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。

【高等学校】

- 週1日以上以上の休養日を徹底しながら、年間平均で週当たり2日以上以上の休養日の設定に努める。
- 1日の活動時間は、学校の特色及び種目等を考慮し、各学校において適切に設定する。

- 部活動を補充する活動（保護者会・スポーツ少年団等）が行われる場合は、部活動と合わせて基準内とする

■ 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

- 多様なニーズに応じた活動の環境整備
- 合同部活動の取組の推進
- 自主的・自発的な活動（強制的に加入させない）

■ 学校部活動の地域連携

- 地域のスポーツ・文化芸術団体等との連携した部活動の実施
- 興味関心に応じた活動選択への配慮

■ 学校部活動中の事故防止等

- 気象情報等に留意し、熱中症防止等について適切に対応
- マニュアル作成等による安全管理体制の構築

II 新たな地域クラブ活動

行政・学校・地域等が連携・協働した、生徒の活動の場として整備すべき地域クラブ活動の在り方

■ 新たな地域クラブの在り方

- 学校等の関係者の理解と協力の下、生徒の活動の場として、地域クラブ活動を行う環境を速やかに整備
- 生徒のニーズに応じたプログラムの提供、指導者の確保等に取り組む、生徒のみならず地域住民を対象とした地域スポーツ・文化芸術活動全体を振興する契機
- 例えば総合型地域スポーツクラブの充実により、他の世代にとっても、気軽にスポーツ・文化芸術活動を行える環境を期待

■ 適切な運営や効率的・効果的な活動の推進

- 地域クラブ活動の運営団体・実施主体
 - ・ 総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、クラブチーム、プロスポーツチーム、民間事業者、文化芸術団体など多様なものを想定
 - ・ 保護者会・同窓会など学校関係組織・団体も想定、市町村も想定（協議会等による関係者間の連携体制の構築）
- 指導者（質の保障、量の確保等）
 - ・ 相談窓口の設置・活用、広域的な人材バンクの整備、希望する教員等の円滑な兼職兼業の許可
- 多様なニーズに応えるためのプログラムの確保
- 適切な休養日等の設定

地域クラブ活動の休養日及び活動時間の基準

- 週当たり2日以上（平日1日以上、週末1日以上）の休養日を設ける。休日のみ実施の場合も原則として1日を休養日とする。
- 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。
- ・ スポーツ医・科学の見地から、休養を適切に取る必要がある
- 活動場所
 - ・ 公共のスポーツ・文化施設や地域団体・民間事業者等が有する施設、地域の学校に加え、廃校施設も活用を検討（低廉な利用料を認めるなど負担軽減等を検討）
- 可能な限り低廉な会費の設定
- 怪我等を補償する保険や個人賠償責任保険の加入の促進

■ 学校との連携（協議会等の場を活用）

III 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むための進め方

- まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- 平日の環境整備はできるところから
- 市町村が運営団体となる体制や、地域の多様な運営団体が行う体制など、段階的な体制の整備
 - ※ 直ちに体制整備が困難な場合、地域連携として拠点校方式による合同部活動も導入しながら部活動指導員や外部指導者を適切に配置
- 県・市町村において関係者からなる協議会等を設置し、検討体制を整備
- 国の改革推進期間（令和5～7年度）を踏まえ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- 市町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方

- 生徒の大会・コンクールの参加・応募等の機会を確保（地域クラブ活動の会員等が参加・応募となるよう見直し）
- 大会参加引率や運営に係る体制の整備
- 気温や湿度、暑さ指数等の客観的な数値による大会開催可否の判断
- 交流等のイベントや高い水準の大会などの多様な大会等の開催、多様なニーズに対応した機会の設定



令和6年1月 岩手県 岩手県教育委員会

出典：岩手県ホームページ（<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/sports/1007339/1070545/index.html>）

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）

岩手県一戸町における実証事業の取組状況（成果報告書より）



【練習風景】



【練習風景】



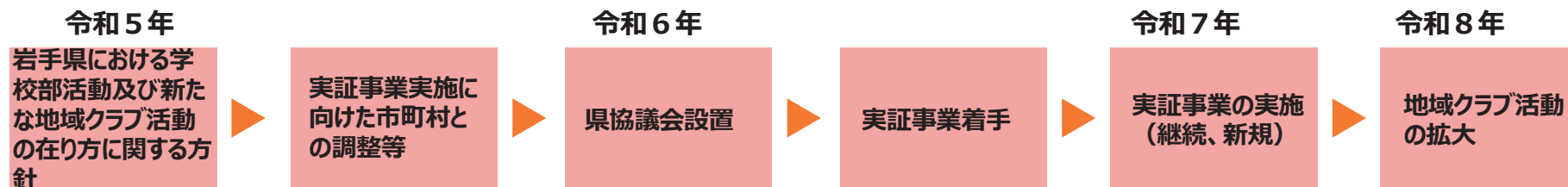
【町老連60周年記念大会 出演時】



【一戸町郷土芸能祭 出演時】

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

市町村文化芸術主管課、市町村教育委員会、中学校、文化芸術団体

●経過

- ・ 有識者による複数回の検討会議を踏まえ、「岩手県における学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針」を策定(R6.1)
- ・ 実証事業実施に向けた市町村との調整等(意向調査、訪問等)
- ・ 「岩手県における地域クラブ活動の在り方に関する協議会」を開催し、関係者による情報共有や意見交換を実施
- ・ 実証事業着手

●実証事業実施内容

岩手県一戸町における伝統(民俗)芸能をテーマとした実証

●実施にあたって生じた課題

- ・ 実証事業を実施する市町村においては、様々な関係者で構成する運営協議会において、地域移行に関する活動の方針や課題への対応等について協議する形となる。
- ・ 運営協議会で話し合われた内容は、実際に中学生を対象として地域クラブ活動を実施する主体である地域文化芸術団体及び団体に所属する地域指導者においても、情報共有がなされ、地域移行の趣旨や方針等が浸透される必要がある。実証事業実施市町村においては、さらなる組織間の連携に向けて、情報共有等について、次年度以降も継続して取り組む課題とされた。

●今後の展開

- ・ 県においては、市町村における実証で把握された課題等について、県協議会において関係者に情報共有の上、市町村及び関係団体等に必要な助言・指導や事例紹介等を行うこととする。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

岩手県 部活動改革スケジュール（案）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国の動向	ガイドライン改訂 推進計画策定方針	部活動地域移行の改革推進期間（R5～R7）			更なる改革期間（R8～）
県の方針 検討会議		県の方針改訂 説明会の開催	協議会の設置		
岩手県	実践研究・実証事業（R3～）				市町村の取組 を継続支援
	セミナー（R3～R5）		ワークショップ（R6～）		
			事例発表会（R6～） 市町村相談会（R6～）		
市町村		協議会の設置 地域移行推進計画策定 市町村の方針改訂	地域の実情に応じて可能な限り 早期の実現を目指す		

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

岩手県一戸町

自治体名：岩手県一戸町

担当課名：教育委員会学校教育課

電話番号：0195-33-4860

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	300.03 km ²
人口	11,015 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	229 人
部活動数	3 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	一戸町部活動地域移行にかかる運営協議会設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

一戸町には、数多くの郷土芸能が存在し、それぞれの地域で長年踊り継がれてきた。

これらの古くから地域に受け継がれてきた歴史や文化を将来に繋げていくため、文化財の保護と普及啓発に努めるとともに、地域資源として活用することで町民の郷土に対する愛着心の醸成を図ってきた。

町の郷土芸能の殆どが県や町の指定無形民俗文化財に登録されており、町の保持団体が地域一丸となって日々伝統の継承に勤しんでいる。

過去には毎年開催される全国民俗芸能大会に出演した団体もある。

町内各地区の郷土芸能保存会において、地元の児童・生徒が踊り手となり、やがて成長した者が担い手として新たな若者を指導している。

現在、町の人口減少に伴い、担い手・踊り手もまた減少の一途を辿っている。担い手は高齢化も進んでおり、これら人材の確保が喫緊の課題となっている。

今回、一戸町が部活動地域移行にかかる運営協議会を設置し、参加生徒を対象とした地

域文化クラブ活動として、一部活動団体の協力のもと実証事業を行うものである。郷土芸能の伝承活動を支援するという観点もふまえ、運営協議会関係者、指導者、保護者らとの課題意識の共有を図っていかねばならない。

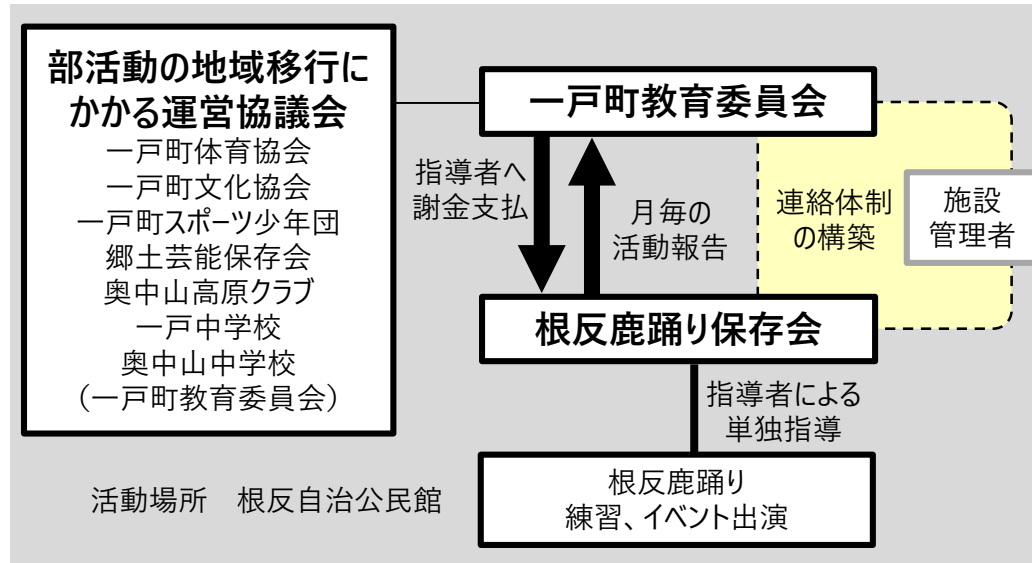


【一戸町郷土芸能祭（R6ポスター）】

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・協議会で実証事業の検証や他部活動の地域移行に向けて検討を行う。
- ・指導者への謝金等支払を行う。

◎首長部局

（文化芸術主管課は教育委員会に含まれる）

年間の事業スケジュール

令和6年4月	地域クラブ活動指導者への委任
令和6年4月～	
令和6年12月	地域クラブ活動の実施 (指導者謝金支払含む)
令和6年7月	運営協議会（協議会設置報告及び年度活動進行報告）
令和6年11月	事業中間検査報告
令和7年2月	変更契約・事業終了（報告書提出）
令和7年3月	運営協議会（振り返り）

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ（0 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1 クラブ
全体の指導者数	4 人	全体の運営スタッフ数	5 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
しおど 根反鹿踊り 保存会	文化芸術団体	伝統（民族）芸能	月 4 回／ 週 1 回	19:30～ 20:30	1年：3人 2年：2人 3年：1人	4月16日 ～12月 14日	根反自治 公民館	4 人	5 人	会費なし	全出演：地域クラブ

【その他町内郷土芸能保持団体】

- 高屋敷神楽保存会
- 中山神楽保存会
- 小鳥谷七ツ踊り保存会
- 小友神楽保存会
- 田中新山社神楽保存会
- 女鹿神楽保存会
- 来田七ツ物保存会

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 一戸まつり（毎年 8 月下旬開催）
- 一戸町郷土芸能祭（毎年11月開催）
- その他、各団体ごとに町内外のイベントに参加

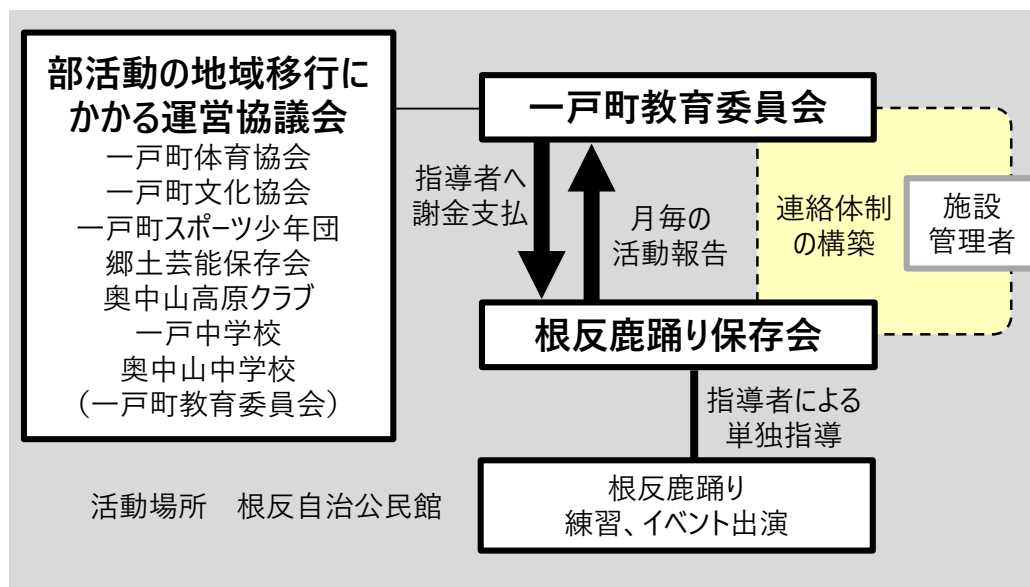
2.実証内容と成果

主な取組例

●根反鹿踊り保存会 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	伝統（民族）芸能
運営団体名	根反鹿踊り保存会
期間と日数	4月16日～12月14日 月4回程度
指導者の主な属性	会社員、無職 など
活動場所	根反自治公民館
主な移動手段	徒歩、保護者の送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	会費なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動統括、稽古指導

●主任指導者 3名

役割：稽古指導

●運営補助者 5名

役割：活動場所の確保・調整、活動日の用具・備品の準備、財務管理

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・一戸町部活動地域移行にかかる運営協議会の設置及び実施
- ・町担当者・各種目指導者・施設管理者との連携確認

取組の成果

- ・運営協議会を開催し、地域クラブ活動としての展開、特に指導者謝金、保険のあり方などについて協議し、実証事業を通して活動について都度確認していくこととした。
- ・活動団体に対し実証事業の説明を行い、取り組み参加の意向を確認した。

今後の課題と対応方針

運営協議会では、委員から部活動及び学校外活動に関する現状・課題が意見として多く出された。協議会の方針として、土壌が整ったところから地域移行を始めていくこととし、部活動顧問や生徒、保護者へ理解を得るための説明についても今後の協議会での検討事項とした。この他、クラブ運営の在り方について先の好事例を他自治体から聞き出すことも検討する。

なお、運営協議会を設置して間もないこともあり、活動団体に対する説明が不十分だったため、活動報告はじめ組織間の連携に不備が生じ、特に業務報告については団体の運営スタッフに負担をかけた。運営協議会事務局で手順詳細を確認し、年度当初に改めて説明する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / キ：学校施設の活用等

取組事項（イ）

- ・地域クラブ指導者及び活動時間・場所の確保
- ・謝金を支給による指導者の確保

取組の成果（イ）

活動に支障が出ることなく安定して確保できた。
謝金についても、指導者のモチベーション向上につながったものと考えられる。

取組事項（キ）

生徒が活動できる十分な広さを確保するため、引き続き現在の練習場所を使用する。そのために、町担当者・各種目指導者・施設管理者で円滑な連絡体制を構築する。

取組の成果（キ）

活動にあたり十分な練習場所を確保できた。

今後の課題と対応方針

指導者は活動に支障が出ることなく安定して確保できたが、指導者の高齢化が進んでおり、遠からず新たな指導者の確保が必要。
施設は地元の自治公民館を使用しているが、老朽化が著しく、また、地元以外の生徒への参加呼びかけなど今後を見据えた場合、現在の練習場所とは別に活動できる場所を検討していく必要がある。
これらと並行して、他の活動団体に対しても指導者及び活動場所の確保に向けた説明会の実施を検討する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

運営協議会の設置から間もなく地域移行を進めていくこととなったため、全てが手探りの状態で事業開始に手間取り、当初は活動団体に対する説明やサポートが不十分な面も多かった。年度途中で計画を変更することもあったが、概ね年間を通した運営の形は見えてきたと考える。

教育委員会が主体となって事業を進めていることにより継続性は担保されているが、一部の組織に人的労力が集中しており、体制の再整備を要する。また、今後の地域移行の運営にあたり、各学校や関係団体の理解及び協力が不可欠であり、運営協議会において改めて方針を示していく必要がある。

●成果の評価

指導者の確保については謝金支払等により、また、場所の確保も関係者の連携により活動に支障がない水準で保てた。

謝金については対象となる活動の精査も必要と考えられ、改めて次年度の運営開始にあたり活動団体へ詳細を示していくこととする。

●今後に向けて

次年度も引き続き今年度と同じ内容で地域クラブ活動を実施する方針であるが、他団体についても、徐々に地域移行に向けた準備が必要となってくるため、運営協議会において方針を決定していく。

費用負担については、持続可能な地域クラブ運営とするために、会費や保険料の将来的な負担について検討を行うとともに、運営に関する町の財源確保にも努めていく。

2.実証内容と成果②

参考資料（活動写真）



【練習風景】



【練習風景】



【町老連60周年記念大会 出演時】



【一戸町郷土芸能祭 出演時】

2.実証内容と成果③

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

中学校、一戸町体育協会、一戸町文化協会、スポーツ競技団体、郷土芸能保存会、町教委

●経過

5年度に検討委員会を実施し、現行の部活動については、指導者や報酬、活動場所や行き帰りの送迎など様々な課題があり、関係機関と協議を進め、可能な部分から地域移行を目指していくこととし、制度及び事業活用による教職員の負担軽減や地域での指導者確保を検討していくこととした。

6年度から運営協議会（スポーツ・文化共同）を設置し、年度における活動について協議を進めた。実証事業を活用し、今年度は根反鹿踊り保存会の活動を通して、他団体も含めた今後の地域移行の進め方を検証していくこととした。

●実施内容

謝金を支給することで、指導者を確保する。また、生徒が活動できる十分な広さを確保するため、引き続き現在の練習場所を使用する。

●実施にあたって生じた課題

運営協議会から活動団体に対し、実証事業に関する説明が不十分だったため、活動報告はじめ組織間の連携に不備が生じ、団体の運営スタッフに負担をかけた。運営協議会の方針とあわせて、年度当初に改めて説明する。

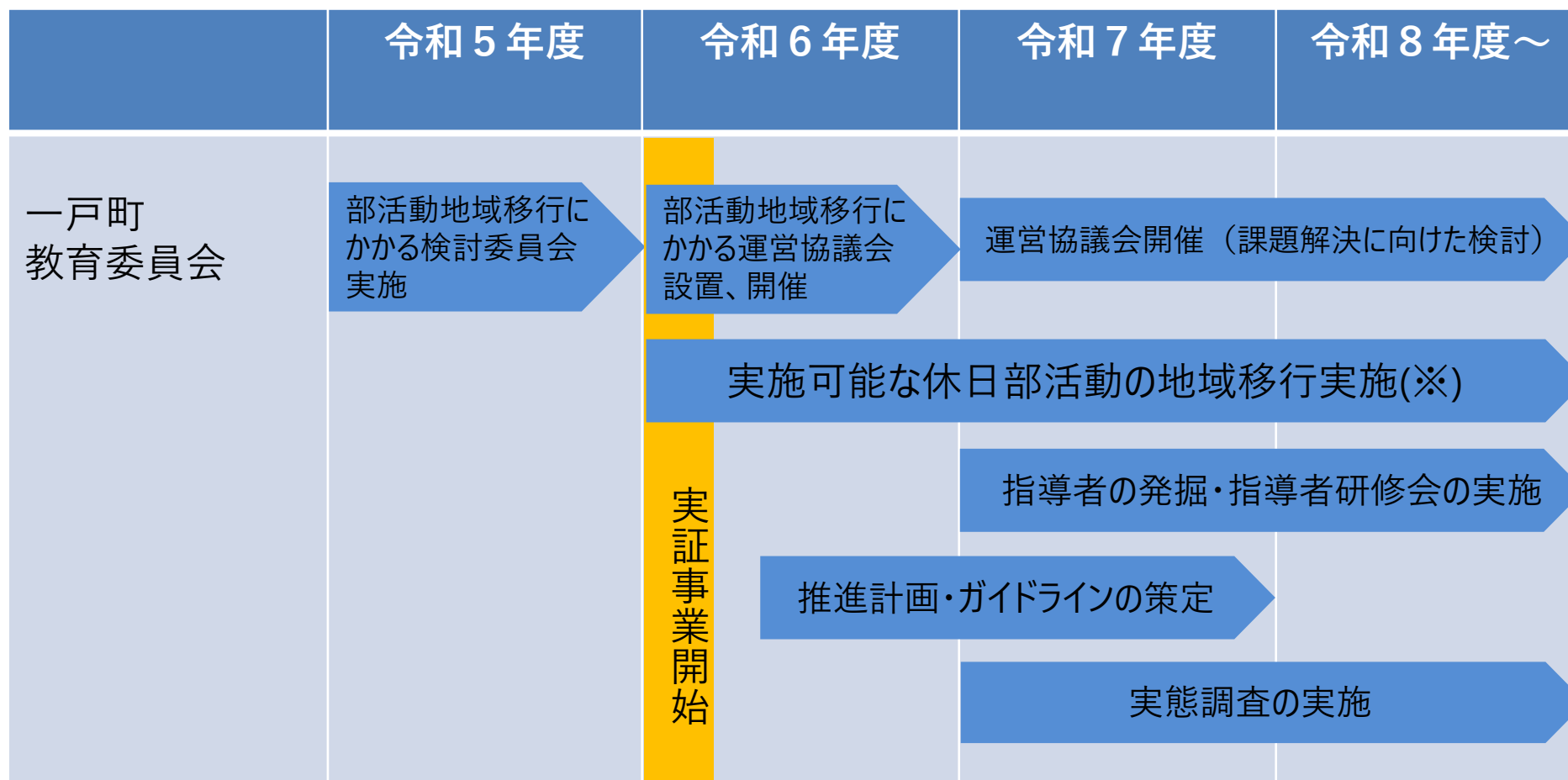
●今後の展開

7年度は、引き続き根反鹿踊り保存会の休日の地域クラブ活動を実施する。また、持続可能な地域クラブ運営とするために、会費や保険料の将来的な負担について検討を行う。

この他、地域指導者を対象とした指導者研修会を実施し、他の団体指導者へ将来的な地域移行について説明する。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



(※)教育委員会における事務処理
 ・指導者あて委任状発出及び承諾書の受領
 ・業務月報の受領及び謝金支払

【その他処理事項】
 ・次年度当初予算計上
 ・都度運営計画等の見直し